

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立佐野台小学校

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成28年4月19日（火）

3. 調査の対象

小学校第6学年，全児童

実施児童数（11人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び算数。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成 28 年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A 区分問題」

- ・下位層が無く、上位層に分布し、書く・話す聞くに優れている。

平均正答率（本校 78.2／泉佐野市 69.5／大阪府 71.3／全国 72.9）

「B 区分問題」

- ・ほとんど上位層に分布している。

平均正答率（本校 70.9／泉佐野市 52.4／大阪府 55.4／全国 57.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語 A	特 徴 が み ら れ た 設 問
【話すこと・聞くこと】 ○目的や意図に応じて、収集した情報を関係付けながら話し合っている。 2 全校集会で歌う歌を決めるために、どのように話し合っているのか、話合いの説明として適切なものを選択する。 (90.9/79.2) 【書くこと】 ○書き手の表現の仕方をよりよくするために助言することができる。 3 ルール説明の表現について助言した内容として適切なものを選択する。 (90.9/67.4) 【言語に関する事項】 ○漢字を読む・書くことについてはほとんどできている。 1－1 (90.9/79.3) 1－2 (100/98.5) 1－1 (100/87.5) 1－3 (81.8/64.2)	○漢字によっては書くことに課題がある。 1 二 2 (63.6/73.8) ○ローマ字を書くことに課題がある。 8－2 (36.4/41.8) ○用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めることができる。 7 アイ毛筆で書いた（一）と（二）を書き直した際、注意した点として適切なものを選択する（永久） (100/81.2) 【読むこと】 ○目的に応じて、図と表とを関係付けて読むことができる。 5 公園案内図とパンフレットにある表とを関係付けて読み、希望に合うものを選択する。 (90.9/93.1)

国語 B	特 徴 が み ら れ た 設 問
【話すこと・聞くこと】 ○目的に応じて、質問したいことを整理することができる。 1 スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを作成した際の工夫した点として当てはまらないものを選択する。 (72.7/51.8) ○質問の意図を捉えることができる。 1 ニスーパーマーケットの店長への質問の意図として適切なものを選択する。 (63.6/51.1) ○話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問することができる。 1 スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを基にして、話の展開に沿った質問を書く。 (90.9/50.4)	【書くこと】 ○グラフを基に、分かったことを的確に書くことに課題がある。 (36.4/43.4) 【読むこと】 ○目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫することができる。 3 ニ「パン職人」に関する複数の資料の内容を関係付けてまとめたものとして適切なものを選択する。 (90.9/77.9) ○目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことができる。 3 ニ「パン職人」について、紹介したい内容をまとめて書く。 (100/52.9)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	45.5	58.3	○	12.8
国語の勉強は大切だと思いますか	100	91.3	◇	8.7
国語の授業の内容はよく分かりますか	81.8	80.7		1.1
読書は好きですか	54.6	74.6	○	20.0
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	100	89.2	○	10.8
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	73.7	67.0	◇	6.7
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	63.6	62.3		1.3
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	81.9	74.0	◇	7.9
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	81.9	78.1		3.8
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	100	95.6		4.4

○「国語の勉強は好きだ」と感じている児童の割合が全国と比べて低い、昨年度よりは割合が高い。

(H27 7.1)

○「国語の勉強は大切だ」「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」とすべての児童が感じている。

(H27 78.6/100)

○「読書が好きだ」と感じている児童の割合が全国と比べて低く、昨年度と同様に低いことは課題である。

(H27 57.2)

○「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」児童の割合が全国と比べて高く、昨年度と比べても高い。

(H27 64.3)

○「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている」児童の割合が全国と比べて高く、昨年度と比べても高い。

(H27 35.7)

平成 28 年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A 区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、中位層から上位層に多く分布している。
平均正答率（本校 85.2／泉佐野市 75.0／大阪府 76.9／全国 77.6）

「B 区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にあるが、全国と比べて上位層がやや多く分布している。
平均正答率（本校 53.8／泉佐野市 44.0／大阪府 45.8／全国 47.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数 A	特 徴 が み ら れ た 設 問
【数と計算】 ○除数と被除数に同じ数をかけても商は変わらないことを理解できており、全国を大きく上回っている。 1（2）2. 1 ÷ 0. 7 を、除数が整数になるように工夫して計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く。 (81.8/68.5) ○除法における計算の確かめの方法を理解できている。 1（3）小数の除法の結果を、乗法を用いて確かめるとき、当てはまる数値の組み合わせを書く。 (90.0/87.9) ○繰り下がりのある減法の計算をすることができている。 2（1）905－8 を計算する。 (100.0/90.9) ○末尾の位のそろっていない小数の加法の計算をすることができている。全国を大きく上回っている。 2（2）4. 65＋0. 3 を計算する。 (100.0/77.1) ○小数の除法の計算をすることができている。 2（3）18 ÷ 0. 9 を計算する。 (81.8/77.7) ○乗数が整数である場合の分数の乗法の計算をし、約分することができるが、全国と比べると課題がある。 2（4） $(2/9) \times 3$ を計算する。 (81.8/87.0) ○不等号を理解できている。 3（1）二つの数の大小関係を表す不等号を書く。 (100.0/96.7) ○数の大小関係を理解できており、全国を大きく上回っている。 3（2）7. 1, 7. 7, 0. 1 の中で一番小さい数と、一番大きい数を書く。 (90.9/74.1)	【量と測定】 ○三角形の底辺と高さの関係について理解できている。 5 三角形の底辺に対応する高さを選ぶ。 (90.9/82.0) 【図形】 ○図形の構成要素に着目して、図形を構成することができている。全国を大きく上回っている。 6 4 枚の三角定規でつくることのできる形を選ぶ。 (100.0/79.6) ○直方体における面と面の位置関係を理解することに少し課題がある。 7 直方体において、示された面に垂直な面を選ぶ。 (72.7/78.0) 【数量関係】 ○全体の大きさに対する部分の大きさを表す割合の意味について理解できており、全国を大きく上回っている。 8 テープ全体の長さを基にしたときの赤い部分の長さの割合が、一番大きいものを選ぶ。 (90.9/74.4) 【数と計算・数量関係】 ○示された場面を適切に読み取り、全体の人数を求める式に表すことができている。全国を大きく上回っている。 9（1）前に 10 人、後ろに 19 人並んでいることを基に、列に並んでいる全体の人数を求める式と答えを書く。 (90.9/80.2)

算数B	特 徴 が み ら れ た 設 問
【数と計算】 ○示された式の中の数値の意味を解釈し、それを記述することに課題がある。 2 (3) 目標のタイムを求める式の中の0.4や0.3が表す意味を書く。(9.1/15.6) ○乗法や除法の式の意味を解釈することができており、全国を大きく上回っている。 3 (1) 三つの式について、それぞれの式が何を計算しているかの説明文を選ぶ。(81.8/62.6) ○縦にかくことができる正方形の数を求め、24個の正方形をかくことができる理由を記述することができており、全国を大きく上回っている。 3 (2) 縦39cm、横54cmの長方形の厚紙から、1辺9cmの正方形を24個切り取ることができるわけを書く。(54.5/37.1) 【数と計算・量と測定】 ○示された条件を基にほかの正方形について検討し、同じきまりが成り立つかを調べることができている。 1 (1) 1辺が9cmの正方形の縦と横の長さを変えたときの面積を求める式と答えとして、ふさわしい数値の組み合わせを書く。(100.0/92.6) 【量と測定】 ○示された条件を基にほかの正方形について検討し、同じきまりが成り立つかを調べることができており、全国を大きく上回っている。 1 (2) 正方形の縦の長さを2cm短くし、横の長さを2cm長くすると面積が4cm²小さくなることの説明を書く。(72.7/45.2) 【量と測定・図形】 ○図形を構成する角の大きさを基に、四角形を並べてできる形を判断することに課題がある。 5 (2) 示された四角形を並べてできる図形を選ぶ。(18.2/25.4) 【図形】 ○正方形に内接する円の半径について理解できており、全国を大きく上回っている。 3 (3) 1辺が9cmの正方形に内接する円をかくために、コンパスの鉛筆の先を合わせる位置を選ぶ。(100.0/76.5)	【数と計算・数量関係】 ○示された式に数値をあてはめて、目標のタイムを求めることができています。 2 (2) 40mハードル走の目標タイムを求める式に8.1と4を当てはめて、まなみさんの目標タイムを求める式と答えを書く。(63.6/50.5) 【量と測定・数量関係】 ○単位量あたりの大きさを求めるために、ほかに必要な情報を判断し、特定することに課題があり、全国と比べ大きく下回っている。 4 (1) 学校ごとの1人あたりの本の貸出冊数を求めるために、学校ごとの貸出冊数の合計のほかに調べる必要のある事柄を選ぶ。(36.4/48.3) 【数量関係】 ○示された事柄について、二つの表を基に読み取ることができない事柄を特定することができる。 4 (2) 示された二つの表だけでは判断できないものを選ぶ。(81.8/70.7) ○グラフから貸出冊数を読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を記述することに課題がある。 4 (3) A小学校とB小学校の図書委員が表したグラフを見比べて読みとった事柄として正しくない事柄について、正しくないわけを書く。(27.3/24.9) 【数と計算・量と測定・図形・数量関係】 ○示された除法の式を並べてできた形と関連づけ、角の大きさを基に、式の意味の説明を記述することに課題がある。 5 (2) 示された四角形を並べてできる図形を選ぶ。(0.0/6.9)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	63.6	66.0		2.4
算数の勉強は大切だと思いますか	90.9	91.9		1.0
算数の授業の内容はよく分かりますか	90.9	80.2	○	10.7
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	91.0	75.8	○	15.2
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	90.9	81.0	◇	9.9
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	81.9	67.4	○	14.5
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	81.8	89.9	◇	8.1
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	81.9	80.5		1.4
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	100	80.8	○	19.2
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	81.8	84.8		3.0
今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたか、どのように解答しましたか	100	96.6		3.4
調査問題の解答時間は十分でしたか（算数 A）	100	86.3	○	13.7
調査問題の解答時間は十分でしたか（算数 B）	45.5	57.3	○	11.8

○「算数の授業の内容がよく分かる」と感じている児童の割合が全国と比べて高く、昨年度よりも高い。
(H27 71.4)

○「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う」児童の割合が全国と比べて高く、昨年度よりも高い。
(H27 35.7)

○「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」児童の割合が全国と比べて高く、昨年度よりも高い。
(H27 42.8)

○「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と感じている児童の割合は80%を超えているが、全国と比べると下回っている。
(H27 85.7)

○「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」児童の割合が全国と比べて高く、昨年度よりも高い。
(H27 50.0)

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（49問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問（11問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して10%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	ものごとを最後までやり遂げたり、失敗を恐れずに挑戦したりする児童の割合が、全国を下回っている。 将来の夢や目標を持っている児童の割合が、全国を下回っている。 テレビ・DVD・ゲーム・メール・インターネット等に費やす時間は、全国を上回っているが、昨年度に比べ時間数は減少している。 ボランティア活動に参加する児童の割合が、全国を上回っている。 新聞を読まない児童の割合が、全国を上回っている。	○ものごとを最後までやり遂げて、うれしかった。 <81.8/94.4> ○難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している。 <45.5/76.1> ○将来の夢や目標を持っている。 <72.8/85.3> ○普段、11時までに寝ている。 <72.8/86.2> ○普段1日あたり2時間以上、テレビ・ビデオ・DVDを見る。 <72.8/57.1> ○普段1日あたり1時間以上、テレビゲームをする。 <90.9/55.0> ○普段1日あたり1時間以上、携帯電話やスマートフォンで通話やメール・インターネットをしている。 <36.4/18.5> ○家の人と学校での出来事について話をする。 <63.7/79.2> ○家の手伝いをしている。 <54.6/82.8> ○地域社会などでボランティア活動に参加したことがある。 <54.5/36.2> ○新聞をほとんど、または全く読まない。 <72.7/54.7>
【家庭学習の様子】	家庭での学習時間が2時間以上である児童の割合が、全国を上回っている。 図書室や図書館を利用する児童の割合は、全国を下回っている。 家で学校の復習をしている児童の割合が、全国を下回っている。	○学校の授業以外の勉強時間が2時間以上である。 <54.6/25.5> ○休みの日の勉強時間が2時間以上である。 <36.4/24.2> ○本を読んだり、借りたりするために、学校の図書室や地域の図書館に月1回は行く。 <18.2/40.3> ○家で学校の復習をしている。 <36.4/55.2>

【学校での 学習の様子】	授業中に自分の考えや意見を発表することが得意な児童の割合は、全国を上回っているが、友達の話や意見を最後まで聞くことができる児童の割合は、全国を下回っている。 課題解決に向けて、自分たちで話し合い、発表している児童の割合が、全国を上回っている。 授業の最後に学習内容を振り返る活動に取り組んでいる児童の割合が、全国を上回っている。 400字詰め原稿用紙に感想文等を書くことを難しいと感じている児童の割合が、全国を下回っている。 授業中に分からないことがあるときに、その場で先生に尋ねる児童の割合が、全国を上回っている。	○友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意である。 ＜63.6／51.7＞ ○友達の話や意見を最後まで聞くことができる。 ＜81.8／92.7＞ ○先生は、あなたのよいところを認めてくれている。 ＜100／82.6＞ ○先生は、分からないところを分かるまで教えてくれる。 ＜100／84.8＞ ○5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う。 ＜100／85.1＞ ○5年生までに受けた授業では、自分たちで課題を立てて、解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表していたと思う。 ＜91.0／75.7＞ ○5年生までに受けた授業では、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う。 ＜100／76.1＞ ○5年生までに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動をしていたと思う。 ＜100／77.6＞ ○400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思う。 ＜36.4／60.4＞ ○友達と話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。 ＜81.8／68.3＞ ○授業の中で分からないことがあったら、その場で先生に尋ねる。 ＜72.7／15.2＞
-------------------------	---	--

本校の取組み

◎これまでの取組み

◇朝の運動「UPタイム」

- ・毎朝15分間、全学年で体を動かす時間を設ける。
- ・朝から運動することにより、体力向上を目指すとともに脳が学習するための準備を整える。

◇学習規律の確立「佐野台小学校 学習のハケ条」

- ・休み時間に次の学習の用意をする ・学習しやすいように机の上を整える
- ・姿勢を正す ・起立して発表する ・相手を見て話す、聞く 等

◇学力向上の時間（昼＜Eタイム＞、帰りの時間 各15分間）

- ・火曜日（昼）…漢字 ・水曜日（帰り）…漢字 ・木曜日（昼）…計算

◇佐野台タイム

- ・基礎基本を中心に、年間を通して計画的に実施。
- ・4、5、6年生に各3～4名の教師で指導にあたる。月曜6限に実施。

◇家庭学習の徹底「家スタ」

- ・年度初めに配付する家スタの手引きを参考に家庭学習に取り組む。
- ・1年生30分、2年生40分、……、6年生80分を目標に取り組む。
- ・取組み状況を家スタカードに毎日記入し、提出。

◇全学年での日記の取組み

- ・観察力、思考力、文章表現力をつけるために行う。
- ・低学年…順序を考えて書く。自分の思いを書く。 中学年…思い、考えたことを書く。
- ・高学年…表現方法を工夫して書く。他人の思いにもふれる。

◇生活習慣の調査、家庭との連携

- ・生活習慣の調査を行い、子どもたちの朝食摂取や睡眠時間、テレビ等視聴時間を把握する。
- ・家庭との連絡を取りながら、食育や生活習慣改善の協力を求める。

◇読書

- ・図書の時間での読み聞かせ ・本の貸し出しの多い子を表彰、しおりの配布

◎これからの取組み

◇朝の運動

- ・引き続き、朝の運動に取り組む集中力を高められるようにする。
- ・体力向上の視点からも様々な運動を取り入れていく。

◇学習規律

- ・学習環境を整え、学習規律の徹底を図る。落ち着いて学習に取り組ませる。

◇学力向上の時間

- ・力だめしプリントや、問題データベース等を活用し、繰り返し既習内容の復習に取り組む。
- ・漢字、計算だけでなくローマ字の復習も取り入れていく。

◇佐野台タイム

- ・引き続き、複数指導者での体制を活かした指導にあたる。

◇家庭学習

- ・家庭で集中して宿題に取り組むように指導を続ける。
- ・全国と比べると、家庭での学習において復習や予習に取り組む児童の割合が少ないので、自ら課題を見つけ復習や予習に取り組めるようにする。

◇家庭との連携生活

- ・朝食の重要性を伝えていきながら、朝食摂取の割合がどの学年でも高くなるように家庭と連携をとっていく。併せてテレビやゲーム、携帯電話等の使用時間が減るように声かけを続ける。

◇読書

- ・様々な本との出会いの中で、語彙力や表現力の幅を増やしていけるように、読書活動を充実させる。